

活動方針の具現化に向けて全国大会の決定事項を申し入れ

■ 海事振興連盟

第84回定期全国大会で決定された第79年度活動方針に基づく申し入れを、全国海友婦人会と共同で行った。松浦満晴組合長をはじめ、関係する各部門の職場委員が同行した。また、海事振興連盟には酒井智代子全国海友婦人会会長が同行した

-主な申入れ事項-

★組合から各部門で直面する問題について要望

- ◇船員の確保・育成の推進と船員の地位向上
- ◇船員養成教育機関の維持・定員拡大などに必要な予算の確保
- ◇海に親しむ活動の取り組み推進
- ◇新型コロナウイルス感染症に関わる新薬開発と船内備置
- ◇船員税制（政策減税）
- ◇情報通信インフラの整備
- ◇船用燃料補助政策への取り組み
- ◇フェリー・旅客船の維持・存続
- ◇「海の日」の7月20日への固定化

★酒井智代子全国海友婦人会会長から

- ◇「海の日」の7月20日への固定化など家族の立場を代表した要望

-ご対応- 衛藤征士郎会長

各要望事項に対する理解を示し、「海の日」の7月20日への固定化は、海事振興連盟の総会決議にも挙げられており、実現に向け全力で取り組むとした。

「海員だより」